

歯科レセプトチェック機能

基本要件

- ・ 医事会計システムから出力したレセプトデータ（歯科入外）について、オンライン又は光ディスク等による請求に係る記録条件仕様に従っているか確認できること。
- ・ 診療報酬改定前後等の電子レセプトの新旧両方のフォーマットの読み込みができること。
- ・ レセプトの病名・検査等と院外処方箋の投薬内容の突合点検ができること。
- ・ 過去の提出レセプトとの縦覧点検を行い、複数月にわたって算定回数が定められている医療行為について点検出来ること。
- ・ 最新のチェック用データベースを毎月提供できること。
- ・ 医事課職員(19名)が使用する各端末においてチェックルールを共有できること。
- ・ 1ライセンスで当センター内の全端末が利用できるライセンス体系であることが望ましい。

チェック機能として、以下の機能を有すること。

- ・ 15歳未満の本人・家族のチェックができること。
- ・ 65歳未満で後期高齢者医療の保険を使用のチェックができること。
- ・ 75歳以上で後期高齢者医療以外の保険を使用のチェックができること。
- ・ 70歳以上75歳未満で高齢受給者以外の保険を使用のチェックができること。
- ・ 70歳未満または75歳以上で高齢受給者の保険を使用のチェックができること。
- ・ 65歳以上で国保退職者の保険を使用のチェックができること。
- ・ 傷病名コードとマスターコードのチェックができること。
- ・ 傷病名の廃止日と診療月のチェックができること。
- ・ 傷病名の存在チェックができること。
- ・ 未コード化傷病名（ワープロ病名）のチェックができること。
- ・ 未コード化傷病名をレセ電算病名＋修飾語に読み替えてチェックができること。
- ・ 未コード化傷病名をユーザが指定したレセ電算病名と修飾語の組合せに変換してチェックができること。
- ・ 未コード化傷病名をMED I S提供の索引テーブルと照合して、レセ電算病名と合致したものに交換してチェックができること。
- ・ 診療開始日と診察日のチェックができること。
- ・ 主病名の存在のチェックができること。
- ・ 診療行為と適応症の部位チェックができること。
- ・ 傷病名と歯式の組み合わせをチェックできること。
- ・ 傷病名と修飾語の組み合わせをチェックできること。
- ・ 傷病名と欠損病名の部位重なりをチェックできること。
- ・ ブリッジ病名の歯式をチェックできること。
- ・ 「回数」と「算定日情報」の合計値が一致のチェックができること。
- ・ 年齢からみて算定できない診療行為のチェックができること。
- ・ 電子点数表に基づいた診療行為の算定背反チェックができること
- ・ 初診料と診療開始日病名のチェックができること。
- ・ 初診料の算定条件が満たされていない場合のチェックができること。
- ・ 初・再診回数と診療実日数のチェックができること。
- ・ 入院基本料と特定入院料による実日数等のチェックができること。
- ・ 診療行為回数と実日数のチェックができること。
- ・ 診療行為回数の1月あたりの上限チェックができること。
- ・ 各種行為に対する注加算、年齢加算、時間外加算等の妥当性のチェックができること。
- ・ 注加算対象診療行為の記録順がチェックできること
- ・ 歯周病において、P病名とスクレーリング回数のチェックができること。
- ・ 歯周病において、P病名とSRP・PCur回数のチェックができること。
- ・ 歯周病において、同一期間に算定できない項目のチェックができること。
- ・ 歯周病において、算定された項目が治療の流れに沿っているかチェックができること。

- ・ 義歯新製時、人工歯の算定回数チェックができること。
- ・ 各種診療行為と病名の適応性チェックができること。
- ・ 傷病名の開始日・終了日を考慮した適応性チェックができること。
- ・ 対応する傷病名が入力されていない場合、候補病名を表示できること。
- ・ 候補病名は医療機関の使用頻度を学習した頻度の高い順あるいは候補指定順の選択ができること。
- ・ 病名は複数病名の組み合わせでチェックができること。
- ・ 年齢の範囲を設定して傷病名のチェックができること。
- ・ 傷病名の診療開始月または開始日からの経過月・日を指定してチェックができること。
- ・ 初診の月に算定可・算定不可の診療行為のチェックができること。
- ・ 退院の日（退院日毎も指定可）に算定可・算定不可の診療行為のチェックができること。
- ・ 入院の日（今回入院日も指定可）に算定可・算定不可の診療行為のチェックができること。
- ・ 指導料、診療行為、医薬品、特定器材の算定もれチェックを施設基準設定、年齢、診療科、傷病名、併算定条件等を設定してチェックができること。
- ・ 保険適用区分と食事負担金の整合性のチェックができること。

以下の辞書機能を提供すること。

- ・ 保険者番号の検索ができること。
- ・ 医薬品・診療行為について適応する病名を検索できること。
- ・ 審査情報提供事例及び告知申請に係る事前評価情報を元に登録された適応病名を区別して表示できること。
- ・ 対象診療行為は、「基本診療料」、「医学管理料」、「在宅医療」、「検査」、「画像」、「投薬」、「注射」、「リハビリテーション」、「精神科専門療法」、「処置」、「手術」、「麻酔」、「放射線治療」、「病理診断」すべての行為から検索ができること。
- ・ 医薬品は一般名から検索できること。
- ・ 医薬品は、「禁忌」、「効能効果」、「適応疾患」、「用法用量」、「廃止日」、「後発品情報」等の情報が表示できること。
- ・ 医薬品から適応する病名、病名から適応する各区分の診療行為等連鎖的な検索ができること。
- ・ 各点検ルール設定画面から辞書画面が表示できること。
- ・ 点検結果から辞書画面が表示できること。

チェック結果について以下の帳票が出力できること

- ・ チェック結果の一覧について出力条件（審査支払機関・入外・病棟・医師・診療科・退院分・在院分）を指定して出力できること。
- ・ チェック結果を患者別のレセプトイメージで出力できること。
- ・ レセプトイメージ上で疑義のある摘要項目を強調して印刷やPDF出力ができること。
- ・ 主保険と公費分点数が異なる場合、対象の公費の法別番号を行為ごとに出力できること。
- ・ レセプトイメージで出力する際に出力条件（審査支払機関・入外・病棟・医師・診療科・点検レベル・レセプト種別・特記事項・法別番号・保険者公費負担者番号・公費のみ）を指定できること。
- ・ チェック結果を出力条件（審査支払機関・入外・病棟・医師・診療科・退院分・在院分）を指定CSVファイルに出力できること。